

## 青年海外協力隊活動報告

14年度一次隊 谷花邦博  
派遣国 パラグアイ

## パラグアイ

- ・ 正式国名 パラグアイ共和国
- ・ 1811年5月14日独立
- ・ 南米大陸のほぼ中央である南緯19度18分～27度31分、西経54度15分～62度38分に位置し北をボリヴィア、東をブラジル、南と西をアルゼンチンの3国に囲まれた内陸国
- ・ 国土面積は406,752平方キロメートル(日本の約1.1倍)
- ・ 人口 535万人
- ・ 主要言語 スペイン語、グアラニー語

## パラグアイとの日本との関係

- ・ 移民の歴史
- ・ 日本人、日系人 約7,000人  
野球・・・岡林(移住地出身者)  
サッカー留学・・・広山、武田、福田
- ・ ゴマ 多く日本に輸出されていた
- ・ Kahe'e  
今はステヴィアの名で知られている甘味料  
もともとは原住民インディヘナの使っていた植物

## 活動内容 I

- ・ 国立音楽院  
国立オーケストラ設立に向けて  
団員の育成  
未来のパラグアイの音楽界を  
担う若者の育成
- 付属音楽院 2年  
イントロダクトリオ 2年  
プロフェッショナルエレメント 4年  
プロフェッショナルスベリオール 4年  
1997年の設立 現在7年目



## 国立音楽院の問題点

生徒の入学者数に対する楽器や設備の不足、そして何よりも重篤なのが教員の不足。  
また、現教員に対して、給与の未払いがたびたびある。



国立の機関であるのに水道や電気が止まることもしばしば

## 国立音楽院での取り組み1



## 国立音楽院での取り組み2



- ・ オーケストラレパートリーの精選、準備
- ・ カリキュラムの見直し
- ・ 教則本、練習曲作り
- ・ 院長との定例懇談会
- ・ 室内楽指導
- ・ 演奏活動への参加

## 活動内容 II

- ・ その他の音楽学校
  - ☆アスンシオン市立音楽院でのレッスン
  - ☆エンカルナシオン市文化の家でのレッスンとオーケストラ指導
  - ☆イタ市私立E. ヒメネス音楽院でのレッスン
- ・ 教育文化省でのカリキュラムの見直し

- ・ Pascua2003への参加  
(教育文化省、アスンシオン市、ASAF主催のプロジェクト)



## 活動内容 III

- ・ プロジェクト  
オーケストラプロジェクト2004  
国立、市立の両音楽院の共催、日本大使館の後援で、両校の生徒によるオーケストラを編成し、生徒のレベル向上と日本音楽の紹介をさせる。



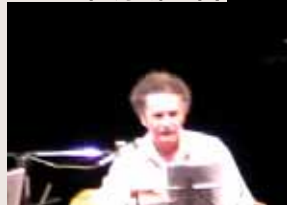
## その他の活動①

- ・ パラグアイ人音楽家とのパラグアイ音楽のCDづくり  
現地音楽家Papi Galan (アルビスト、ギタリスト)氏と日本人留学生藤枝貴子さん(アルビスト)と音楽隊員3人の共同制作。国内演奏旅行、ラジオ出演。



## その他の活動②

パラグアイ人音楽家との  
「国際交流コンサート」  
2003年3月 第一回



## その他の活動③



## その他の活動④

- ・ 現地日系人日本人の学校における演奏会と現地日系人のための教育研修講座
- ・ 日系青年ボランティアの企画による移住地訪問演奏



## 協力隊活動を通して感じたこと

- ・ 日本の良さ  
人を敬う心・約束を守ろうとする心
- ・ 教育の大切さ  
例) 政治に関して マナー・・・ゴミ、迷惑
- ・ 人間の暖かさ  
人類共通の感覚・思いやり

## 生徒へ伝えたいこと

- ・ がんばれ  
みんなに与えられているものへの感謝
- ・ 日本の国のよさ  
これを継いでいくか、だめにしてしまうか、よりいいものにするかは、みんなにかかっている
- ・ みんなにもできる国際協力  
いろいろなスタイルの国際協力があります。小さなことでも、取り組んでみよう！

## 教育関係者に伝えたいこと

- ・ 教育の持つ意味  
社会を作る基盤は教育
- ・ 基礎基本の大切さ  
基礎基本を徹底する日本の教育の素晴らしさ
- ・ 日本人としてのよさ  
人に迷惑をかけないなど、小さなマナーの大切さ

## 明日へ向けて

- ・ 現代社会の問題  
地球規模で解決しなければならない問題が増えてきている。
- ・ 日本の世界の中での存在  
援助をただ単なる国際的地位の確立のために行う時代ではなくなってきている。
- ・ 日本のよさをもう一度考える  
日本の歩んできた努力の道を思い出す。日本には欧米化より大切なものもある。